



文部科学省後援 PDA 全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2026 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程：2026 年 7 月 31 日（金）～8 月 1 日（土）

（1 日目）練習 3 ラウンド、予選 1

（2 日目）予選 2、予選 3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoom にてリモート開催

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

共催：大阪公立大学

後援：文部科学省

協賛：一般社団法人 国際教育英語試験協会（GEET: ジート）

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団



参加者数：高校生 314 名（41 校・97 チーム）

参加高校：41 校 97 チーム

（岩手県）岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立花巻北高等学校、岩手県立一関第一高等学校（茨城県）東洋大学附属牛久中学校・高等学校（栃木県）作新学院高等学校（群馬県）群馬県立太田女子高等学校（埼玉県）埼玉県立川越女子高等学校（千葉県）千葉県立成田国際高等学校、千葉県立船橋高等学校、翔凛高等学校（東京都）東京都立桜修館中等教育学校、獨協高校、品川女子学院高等部（神奈川県）神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、神奈川県立湘南高等学校、浅野高等学校、聖光学院高等学校、栄光学園高等学校、湘南白百合学園高等学校、神奈川朝鮮中高級学校（福井県）福井県立藤島高等学校（長野県）長野県長野高等学校、長野県屋代高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県諏訪清陵高等学校（岐阜県）岐阜県立岐阜高等学校（愛知県）滝高等学校（京都府）京都府立嵯峨野高等学校、洛星ノートルダム女学院高等学校（大阪府）大阪青凌中学校・高等学校、関西大倉高等学校（兵庫県）神戸大学附属中等教育学校、兵庫県神戸市立葺合高等学校、雲雀丘学園高等学校（岡山県）岡山県立岡山大安寺中等教育学校（徳島県）徳島県立徳島北高等学校、徳島県立城ノ内中等教育学校（福岡県）福岡県立城南高等学校（沖縄県）沖縄県立具志川高等学校

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。高校生向けのプログラムでは、合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022 年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを 50 分としています。また、効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1：It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.

（大学入試の受験生には彼氏／彼女がいた方がいい。）

論題 2：People should prioritize what they want to do over job stability when choosing a career.

（職業を選ぶ際は、仕事の安定性よりもやりたいことを優先すべきである。）

論題 3：Japan should give more votes to the young.

（日本は若者により多くの投票権を与えるべきである。）

論題 4：Grade retention should be implemented in compulsory education.

（義務教育に留年制度を導入すべきである。）

論題 5：Romantic relationships with AI do more harm than good.

（AI との恋愛は利益よりも害をもたらす。）

論題 6：Families should place their elderly family members in care facilities rather than live together at home.

（家族は高齢者を家で同居させるより、介護施設に入れるべきである。）

論題 7：Investment in domestic education should be prioritized over support for studying abroad.

（留学支援よりも国内教育への投資を優先すべきである。）

論題 8：Consumption tax on food should be eliminated.

（食料品の消費税をなくすべきだ。）

1日目

開会式は、全国から集結した 97 チームの紹介から幕を開けました。参加者の熱気が画面越しにも伝わる中、PDA 認定教育ジャッジの先生、運営スタッフの紹介、そしてディベートのルール、注意事項の確認が行われました。参加チームが Zoom の画面設定をオンにし、POI の練習も実施されました。その後は、「授業の部」「課外活動の部 初心者」「課外活動の部 一般」「教員の部」の各カテゴリーに別れ、プログラムが同時に進行していきました。中でも「授業の部」は、即興型英語ディベートを授業で実践している学校を対象としており、日頃の学びを存分に発揮する舞台として機能しています。「教員の部」の受験コースでは、PDA 認定教育ジャッジの取得を目標に、教員がディベート実践とジャッジ実践に取り組みます。



POI の練習

練習ラウンド 1 の論題は、「大学入試の受験生には彼氏／彼女がいた方がいい。」でした。この合宿・大会の最初のラウンドということで、緊張しながらもディベートに一生懸命に取り組む様子が見られました。Government（肯定側）と Opposition（否定側）の双方から「受験期のストレスにどう対処するのか」という観点に基づきながら立論が行われ、白熱した議論が行われました。勝敗をジャッジが考えている間にはお互いの学校の紹介など積極的にディベーター間で交流が行われました。



授業・課外初心の部:ジャッジチームによるコメント(関一 A・滝 C)



課外一般の部:フィードバック(葺合・栄光 2)

練習ラウンドでは生徒にもジャッジ役が割り振られ、他のチームのディベートを客観的に評価するトレーニングが行われました。自ら導き出した勝敗とその理由を、ジャッジが下した判定と照らし合わせることで、判断基準や説得力の違いに気づく貴重な学びの機会となりました。何が説得力を生むのか、どの論点が評価に直結するのかを実感しながら、より深くディベートを理解する時間となりました。

練習ラウンド2の論題は、「職業を選ぶ際は、仕事の安定性よりもやりたいことを優先すべきである。」でした。Government（肯定側）は「やりたい仕事をする事で仕事のモチベーションが向上する」という観点、Opposition（否定側）は「安定して給料が得られることのメリット」という観点に基づきディベートが行われました。練習ラウンド3の論題は「日本は若者により多くの投票権を与えるべきである。」でした。少子高齢化、若者の政治的判断能力、法の下での平等、など様々な観点から議論が行われました。本日2回目、3回目のラウンドということもあり、ジャッジから受けたフィードバックを実際に生かしたり、POIの数が増えたりする様子が伺えました。



Round2 課外一般の部:城ノ内・聖光 1



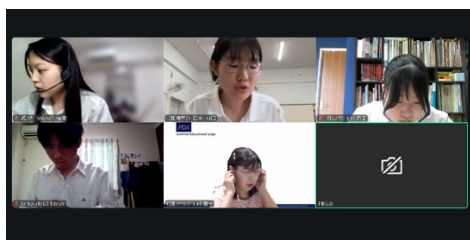
Round2 課外一般の部:盛岡第一 1・湖南白百合



Round2 課外一般の部:神大附属 2・柏陽 3・栄光 2



Round3 課外一般の部:神大附属 1・桜修館・栄光 1



Round3 課外一般の部:相模原 B・城ノ内



Round3 授業・課外初心の部:勝敗発表(滝 C・船橋)

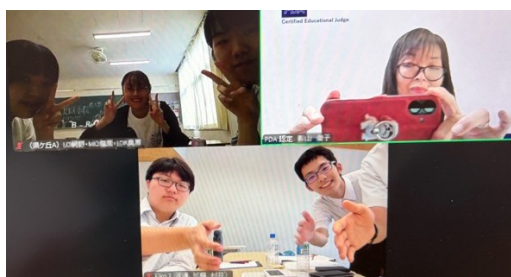
1日目の最後には予選ラウンド1が行われました。論題は「義務教育に留年制度を導入すべきである。」でした。「勉強をする原動力になるのか、それともいざとなれば留年できるという甘えが生じるのか」「そもそも義務教育の目的は何なのか」などさまざまな議論が行われました。ディベート後には、生徒たちはジャッジより勝敗の理由、個人フィードバックを受けました。翌日に続く予選のために、一人ひとりが真剣な表情でジャッジの言葉に耳を傾け、質問をする様子も見られました。また、初日は教員も生徒と同様にディベート実践に取り組み、ディベート後には意見交換や情報交換を行いました。特に受験コースに参加した教員は、PDA 認定教育ジャッジの受験に向けて、ディベート指導において意識すべきポイントを学びながら、実践に取り組みました。



課外一般の部:POI(川越女子1・茅ヶ崎北陵)



課外一般の部:握手(湘南2・川越女子2)



課外一般の部:握手(栄光2・松本県ヶ丘1)



教員による実践:ディベート後の握手

2 日目

2 日目は、各校の出席の確認の後、予選ラウンド 2 が行われました。論題は「AI との恋愛は利益よりも害をもたらす。」でした。参加者たちは、恋人としての AI と人の違いに着目しながら自らの立場を練り上げ、説得力あるスピーチを展開しました。恋人に求められるものは何なのか、AI を通じて企業に操られるようになるのではないかなど、白熱した議論が多く見られました。



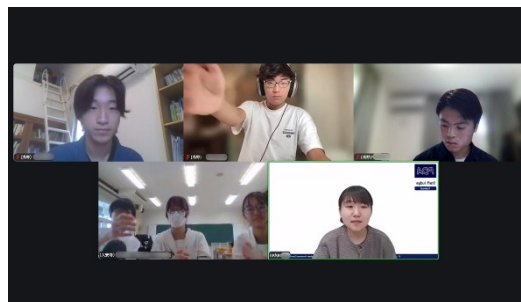
課外初心の部: 洛星ノートルダム女学院高等学校



課外一般の部: 藤島 2・聖光 2



授業・課外初心の部: スピーチ(城南 B・嵯峨野)



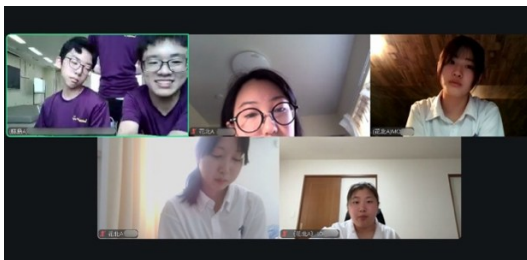
課外一般の部: 握手(浅野・岡山大安寺)

予選ラウンド 2 の後には、論題に関連して、北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター (CHAIN) 特任助教の清水颯先生からキーノートレクチャーをいただきました。AI の登場によって、人と AI との関係が身近になる一方で、真に親密な関係には「二人の主体」が必要なのではないかという視点や、それに伴い「『本物の関係』とは何か」が改めて問われるようになったことについて講義いただきました。



キーノートレクチャーの様子

続く予選ラウンド3の論題は、「家族は高齢者を家で同居させるより、介護施設に入れるべきである。」でした。生徒たちは、家族・高齢者のそれぞれの視点から在宅介護と介護施設の違いを吟味しました。Government（肯定側）からは「介護の負担」「専門施設の安心感」、Opposition（否定側）からは「高齢者の孤立感」「施設のコスト」といった主張が展開されました。



授業・課外初心の部:交流(藤島 A・花巻北 A)



課外一般の部:スピーチ(盛岡第一 1・柏陽2)

昼食時には、レクリエーションが行われました。生徒たちはブレイクアウトルームにランダムに分かれ、ミニゲームで盛り上がりました。このミニゲームはPDAの夏合宿に参加したことのある大学生スタッフが企画したもので、「好きなディベートの論題は」というお題では、ユニークな回答が揃い、笑顔と交流が広がる楽しい時間となりました。

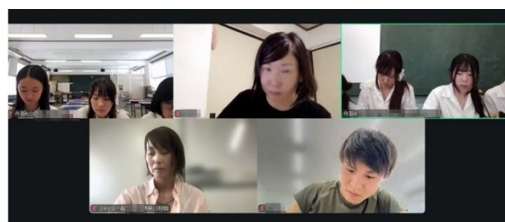


レクリエーションの様子

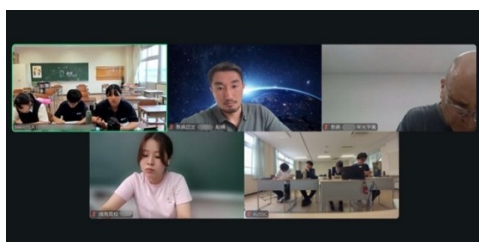
午後には、授業の部、課外活動の部（初心者）、課外活動の部（一般）の準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「留学支援よりも国内教育への投資を優先すべきである。」というグローバル化に対する姿勢を問う難問。生徒たちの将来のためにはどちらの方がよいのかについて真剣に議論を行いました。また、受験コースの教員はディベート実技試験に向けてディベート実践を行い、POI も交わしながら同じ論題について議論しました。



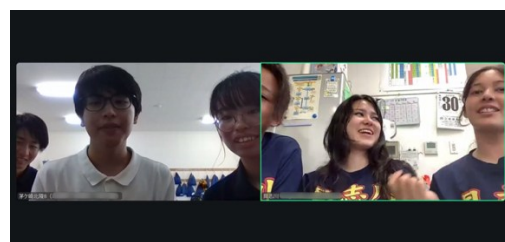
授業の部・準決勝：城南 A VS 品川女子 A



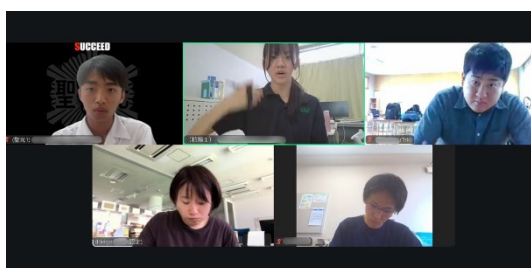
授業の部・準決勝：作新 B VS 作新 C



課外の部(初心者)・準決勝：神大附属 VS 一関第一 A



課外の部(初心者)・準決勝：交流：茅ヶ崎北陵 B VS 具志川 A



課外の部(一般)・準決勝：聖光 1 VS 柏陽 1



課外の部(一般)・準決勝：湘南 1 VS 聖光 2

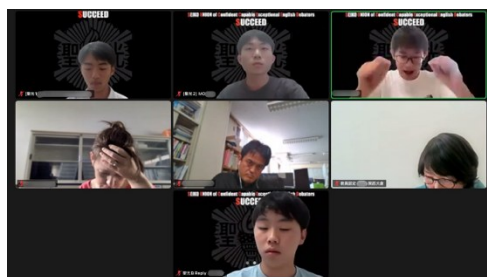
合宿の締めくくりは、授業の部、課外活動初心および課外活動一般の部の決勝戦。論題は「食料品の消費税をなくすべきだ。」でした。最近話題になっているニュースを思い出しながら、国民の生活と国の財政などについてディベートを行いました。多くの観客が試合の行方を見守る中、ディベーターたちは堂々と自らの意見を述べ、2日間の集大成にふさわしい、熱気あふれる議論となりました。



授業の部・決勝戦:城南 A VS 作新 B



課外活動の部(初心者)・決勝戦:茅ヶ崎北陵 B VS 神大附属



課外活動の部(一般)・決勝戦:聖光 1 VS 聖光 2

表彰式では、はじめにベストディベーターやベスト POI の表彰が行われました。次に、今大会から新設された PDA Community Leadership Award の表彰が行われました。これはイベント期間中に周囲との交流を促進し、参加者同士が気持ちよく学べる環境づくりに貢献した参加者を表彰する賞であり、参加者による投票によって選出され、ユニークなポーズで記念撮影を行いました。そして、決勝戦の結果発表およびチーム賞の表彰が行われ、代表としてコメントを求められた生徒は、「成長の機会を得られたことに感謝したい」と笑顔で語りました。



授業・課外初心の部:ベスト
ディベーター(洛星ノートルダム)



授業・課外初心の部:
ベスト POI (作新)



PDA Community Leadership
Award 1 位 (作新)

学校・チーム集合写真



福井県立藤島高等学校



岩手県立一関第一高等学校



作新 B チーム(授業の部・準優勝)



作新学院高等学校



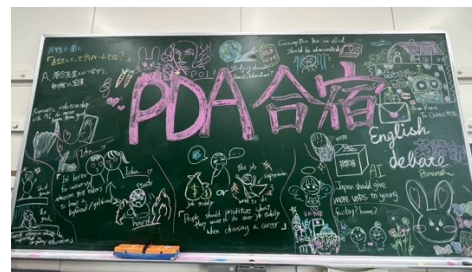
埼玉県立川越女子高等学校



埼玉県立川越女子高等学校



埼玉県立川越女子高等学校





長野県松本県ヶ丘高等学校



長野県松本県ヶ丘高等学校



神奈川県立柏陽高等学校



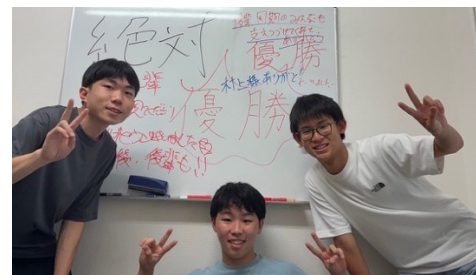
神戸大学附属中等教育学校



神戸大学附属中等教育学校



聖光学院高等学校 1



聖光学院高等学校 2

結果

チーム賞（授業の部）

優勝： 福岡県立城南高等学校 A

準優勝：作新学院高等学校 B

3 位： 品川女子学院高等部 A、作新学院高等学校 C

チーム賞（課外活動の部 初心者）

優勝： 神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校 B

準優勝：神戸大学附属中等教育学校

3 位： 沖縄県立具志川高等学校 A、岩手県立一関第一高等学校 A

チーム賞（課外活動の部 一般）

優勝： 聖光学院高等学校 1

準優勝：聖光学院高等学校 2

3 位： 神奈川県立柏陽高等学校 1、神奈川県立湘南高等学校 1

ベストディベーター賞（授業の部・課外活動の部初心者）※★は 3 回選ばれた生徒

_____さん（作新 C）★	_____さん（作新 D）
_____さん（神大附属）★	_____さん（花巻北 C）
_____さん（茅ヶ崎北陵 B）★	_____さん（諏訪清陵 A）
_____さん（具志川 A）	_____さん（関西大倉 B）
_____さん（花巻北 A）	_____さん（屋代 A）
_____さん（徳島北 A）	_____さん（城南 A）
_____さん（具志川 C）	_____さん（神奈川朝鮮）
_____さん（関西大倉 A）	_____さん（洛星ノートルダム）
_____さん（牛久 A）	_____さん（藤島 B）
_____さん（成田国際 A）	

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）※★は 3 回選ばれた生徒

_____さん（浅野）★	_____さん（藤島 1）
_____さん（長野 1+湘南 3）★	_____さん（獨協）
_____さん（藤島 2）★	_____さん（品川女子 2）
_____さん（一関第一 2）	_____さん（葺合）
_____さん（栄光 2）	_____さん（屋代 1）
_____さん（聖光 1）	_____さん（長野 2）

_____さん（湘南 1）	_____さん（聖光 2）
_____さん（品川女子 1）	_____さん（神大附属 1）
_____さん（翔凜 1）	_____さん（茅ヶ崎北陵）

ベスト POI 賞（授業の部・課外活動の部初心者）※★は 3 回選ばれた生徒

_____さん（作新 D）★	_____さん（諏訪清陵 A）
_____さん（品川女子 B）★	_____さん（牛久 C）
_____さん（岐阜 B）	_____さん（作新 B）
_____さん（一関第一 B）	_____さん（城南 A）
_____さん（城南 B）	_____さん（品川女子 A）
_____さん（神大附属）	

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）※★は 3 回選ばれた生徒

_____さん（聖光 1）★	_____さん（翔凜 1）
_____さん（湘南 1）★	_____さん（浅野）
_____さん（桜修館）★	_____さん（品川女子 2）
_____さん（翔凜 3）★	_____さん（葺合）
_____さん（聖光 2）★	_____さん（柏陽 2）
_____さん（一関第一 2）	_____さん（船橋 1）
_____さん（栄光 2）	_____さん（長野 2）
_____さん（徳島北 1）	_____さん（岡山大安寺）
_____さん（神大附属 2）	_____さん（神大附属 1）
_____さん（品川女子 1）	

PDA Community Leadership Award

- 1 位： _____さん（作新 D） 6 票
- 2 位： _____さん（長野 2） 5 票
- 3 位： _____さん（具志川 B） 3 票
- 3 位： _____さん（具志川 C） 3 票
- 3 位： _____さん（具志川 C） 3 票
- 3 位： _____さん（品川女子 A） 3 票
- 3 位： _____さん（具志川 C） 3 票
- 3 位： _____さん（長野 2） 3 票
- 3 位： _____さん（翔凜 3） 3 票
- 3 位： _____さん（城ノ内） 3 票
- 3 位： _____さん（桜修館） 3 票

アンケート（抜粋）

●生徒の声

- ・他校のレベルの高いディベートを聞いて非常に刺激になりました！このような機会を作っていただき、ありがとうございます。（東京都立桜修館中等教育学校）
- ・普段なかなか交流することが難しい他県の方たちとディベートができ、更に自分の今のレベルを知ることができました。（岩手県立花巻北高等学校）
- ・様々な高校と対戦することができ、とても良い勉強になりました。（神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校）
- ・自分のスキルを磨き、さまざまな人と交流できたのでとても楽しかった。（岩手県立一関第一高等学校）
- ・他校との接点を作れたうえ、面白い論題について考えられ、成長できたと感じたため、有意義だった。（栄光学園高等学校）
- ・普段関わることの出来ない他県の生徒たちとの交流を持って、自分たちにはない価値観や新しい気づきがたくさんあって、勉強になりました。自分の中でここが納得いってないな一、分かりにくいな一と思ったところへの指摘やアドバイスなどもジャッジから貰えたりなど、普段では体験出来ないことを沢山経験できてとてもいい時間になりました。みんなディベート中は真剣で少し怖いところもあったんですが、終わった途端にお疲れ様でしたー！と雑談などで交流を深められたり、話しやすくてそういう点でも面白い経験になったと思いました！（沖縄県立具志川高等学校）
- ・より多くの方と交流でき、自分たちのスピーチにおいてまだまだ足りないところがたくさんあると知れたので、これからも頑張ります！（品川女子学院高等部）
- ・たくさんの方とコミュニケーションとれたり新しい学びをジャッジの方から吸収できて、とても今後の学びになる大会でした！運営の方、ジャッジの先生方、生徒の皆さんありがとうございました！（神奈川県立相模原高等学校）
- ・様々な力を身につけることができ、自分に足りないものを知ることができて良かった。（徳島県立徳島北高等学校）
- ・他校とディベートができ、とても楽しかったです。チームで楽しくディベートができました。（雲雀丘学園高等学校）
- ・運営のみなさま、このような素晴らしい大会を開いていただきありがとうございました！たくさんの強豪校の方々とのディベート、ジャッジの方々からのフィードバックはとても充実しており、この大会はこれからのディベート活動に役立つ素敵な経験となりました。（岡山県立岡山大安寺中等教育学校）
- ・ジャッジの方のコメントがどの方も本当に勝敗に納得した状態で、得るものも多かった。（品川女子学院高等部）
- ・初めてでドキドキしましたが、この大会を通してより英語が上手くなれたと思います。（関西大倉高等学校）
- ・全国の高校の生徒と交流する機会は本当に貴重で、とても楽しくディベートや話をすることができました。2日間とは思えないほど充実していてとてもよい経験になりました！（岩手県立盛岡第一高等学校）
- ・とーってもたのしかったです！！大会自体も他校とのやりとりもメンバーとのやりとりも全てが勉強になりました。（作新学院高等学校）

- ・2日間という長い期間でしたがあっという間に感じるほど楽しかったです。初めてジャッジという立場で観戦したり、練習ラウンドがあったらと充実した2日間でした。ジャッジの方のリフレクも非常にためになり、吸収しながら試合に生かしていくことができました。本大会で得られた経験を活かして、より良いディベーターになれるように頑張っていきたいと思います。(神戸大学附属中等教育学校)
- ・英語を話せるようになりたい！という気持ちが高まった、良い機会となりました。(長野県松本県ヶ丘高等学校)
- ・他県の他校の方々と交流できて良い刺激を得ることができた。これからも努力しようと思うことができた。(福井県立藤島高等学校)
- ・最初は全然話せなくてできないと思ったけど、練習するにつれてどんどんできるようになってとても嬉しかったのでこれからも練習を続けてもっと強くなって次の大会に挑みたいです。(滝高等学校)
- ・本当は自分の意思での参加ではなかったが、他校の人との英語ディベートやジャッジの先生のアドバイスなどを通じて、自身の英語力やその応用力を高めることができた強く実感できた。何より、全ての行程を楽しむことができ、参加してとても良かった。(福岡県立城南高等学校)
- ・どの試合もとても充実した試合で、相手に恵まれ、審判の方からも前向きなコメントをいただけとても勉強になりました。これからも PDA を通して英語に触れ合っていきたいと思いました。貴重な経験をありがとうございました。(長野県諏訪清陵高等学校)
- ・自分が住んでいる地域から遠く離れている方と交流が深められて嬉しかったです！私たちは埼玉県に住んでいますが、試合では沖縄県のチームとディベートを行い、終了後は楽しく会話を交わしました！ジャッジの方からのアドバイスも個別でいただけてとても嬉しかったです！(埼玉県立川越女子高等学校)

●教員の声

- ・楽しかったです！また生徒をしっかり育てて再挑戦させていただきます。
- ・スタッフの皆様貴重な学びの機会をありがとうございました。ディベートのジャッジやディベートの経験がありませんでしたが、今回とても貴重な経験が出来、今後の授業に生かすことができました。
- ・教員にとっても勉強ができるプログラム内容になっており良かったです。
- ・今年も参加させていただきありがとうございました。すごく楽しかったです。運営の皆様、ありがとうございました。
- ・夏のビッグイベント。ジャッジもたくさんやらせていただき勉強になった。
- ・濃い2日間でした。自分もディベートすると、ディベートしている生徒へのリスペクトが深まります。
- ・たくさんのサポートの下、生徒たちも先生方もたくさんの学びを得られる場を設けていただき、ありがとうございました。ディベート部ではないので、なかなか伸びませんが、学びが多かったので今後自分たちでも頑張ってくれると思います。また、夏休み明けからは高校2年生の授業でのディベートを再開することになったので、とても楽しみにしています。今回の経験を活かして授業をデザインしていきたいと思っています。
- ・キーノートレクチャーで触れられていた恋愛の本質の話が面白かったです。特に AI との恋愛を肯定する際には、現状の恋愛に関する観念自体にチャレンジすることが大切だということがわかりました。